



# 十小だより

令和3年5月31日  
第3号  
府中市立府中第十小学校

府中第十小学校 検索

学校ブログ ユーザー名 10s-blog パスワード Fdai10syo を入力して御覧ください

## 梅雨の時期に

校長 内井 利樹

緊急事態宣言が延長されました。まだまだ安心することはできません。新型コロナウイルスに感染しないよう、感染を広げないよう、気を付けて生活すると共に、熱中症にも気を付けなければなりません。今年は例年よりも早い梅雨入りとなりそうです。しばらくはジメジメとした日が続くことが予想されます。梅雨というところのようなことが思い浮かぶでしょうか。なかなか晴れ間が見られずに蒸し暑くなるだけでなく、大雨による災害の発生しやすい時期です。また、なかなか外で遊ぶこともできず、カビが生えたり嫌な臭いがしたりと、気分がすぐれない時期でもあります。しかし、梅雨にしっかりと雨が降らないと困ってしまうこととなります。見方を変えると、梅雨の時期があるからこそ、米や野菜などの農作物がしっかりと実り、美味しく作物を食べることができます。梅雨の時期は困ることも多いのですが、梅雨ならではの良さや楽しみを見付けたいものです。

その一つに読書があります。読書は知識や情報を豊富にすると共に、想像力を働かせ、感性を研ぎ澄ませるので、豊かな人間性を育むという重要な役割があります。映像では得られない文字や活字の力です。十五少年漂流記のような冒険の物語にハラハラドキドキしたこと、織田信長や野口英世などの伝記に感動したこと、ファーブル昆虫記に触発されてアリの観察を始めたこと等々、子供のころの読書の思い出は今でも残っています。

読書をするのとテレビを見ることの違いは何だと思いませんか。テレビをつけるといろいろな画面が現れて、人の声や音楽などが流れてきます。映像と音で情報を伝えてくれます。つまり、目と耳から情報が入ってきます。私は朝起きて洗顔などを済ませた後、テレビを付けます。朝の情報番組を見ながら前の日の食器を片付けたり朝食の準備をしたりします。時々気になるニュースが流れると手を止めて映像に見入ることもあります。たいていは朝の作業の合間にチラッと見たり聞いたりするだけです。少しボーっとしていてもテレビが勝手に情報を伝えてくれます。そういう意味では楽をしながら知識を得たり楽しんだりしていると言えます。

本は書いてある字を読むことで、目から情報を手に入れます。ボーっとしては情報が入ってきません。自分から「読もう」と思わないと何も頭には残りません。多くの本は字ばかりです。絵や写真が載っているものもありますが、絵や写真は情報の一部で動かないので、自分で想像するしかありません。テレビに比べると少し大変です。ですが、この「自分から」ということと、「想像する」ということが、人間にとっても大事なことだと思うのです。想像する力が付いてくると考える力や表現する力も付いてきます。読書することは得になることがたくさんあります。コロナ禍で気楽にいろいろな場所に遊びに行くことも難しい状況でもあります。時にはご家族で本を手に取り、思い思いの読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。面白かった本は紹介しあえると良いですね。十小でも読書週間が始まります。たくさん本を手にとってみてください。

私が小学校時代に読んで、図書室で見つけた本の一部を紹介します。興味がわいた人は読んでみてください。

大どろぼうホツェンプロッツ チョコレート戦争 モチモチの木 月の輪グマ  
エルマーと16ぴきのりゅう 海底2万マイル 宝島 飛ぶ教室  
トム＝ソーヤの冒険 ドリトル先生航海記 日本の歴史(まんが)